

03月度 例会 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内幹雄 片岡泰三
		報告日	04/01		
山城	矢作川流域	山行日	15年 03月 21日 (土) ~		
山名	大川入山		**年 **月**日 (*)		

山行目的	残雪の山・ピストン	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------	--------------------

配布先
総会参加数
山行: 1 リーダー
原紙: 会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

1/2.5 万地形図: 浪合

3/21 晴れ
6:00 高棚発
8:45 登山口
10:18 横岳
11:15 1683m
12:00 鞍部
13:00 頂上 1908m
13:50 下山開始
14:25 鞍部
14:57 1683m
16:03 横岳
17:10 登山口

〈山行報告〉 早朝に家を出発。高棚で片岡さんと合流、R153を走り冷部坂峠に向かう。予定通り登山口近くの駐車場に到着、準備完了して出発。駐車場を出ると、そこはもう雪道だ。所々雪が溶けている登山口から緩やかな登山道を進む。沢にかかる橋をわたり程なくして尾根道に辿り着く。ここからは木の根っこを踏みながらの登山道を進む。そして暫くすると急坂となり辺り一面は雪景色となる。雪は締まっていて歩きやすい。後ろから追い付いてきた登山者に道を譲る。そして急坂を登り切り少し進んだ所で一本取り、行動食を食べる。さらに横岳で軽く休み、ここから緩やかな登り下りをしながら進む。やがて「大川入山頂上」が前方に見えてきた。見晴らしの良い所で休憩。「天気も良く、絶好の登山日和」と思うと「頑張ってるぞ。」という気持ちが湧いてくる。50m程の急坂を下ると鞍部に到着。鞍部を過ぎるとつづら折れに足跡が付いている所を登っていく。前方から登山者が2名降りてくる。登りで我々を追い越して行った登山者だ。急坂を登って行くとやがて頂上が目に見えてきた。「もう少しだ。」と思いながら足を前に出していく。そして、やっとの思いで頂上に到着。「ホッとした」気持ちになる。ここで風の無い所を探して休憩する。お湯を沸かしてカップラーメンを食べながら登頂の喜びを満喫する。そして下山開始。下りは安全を考えてアイゼンを装着する。雪が締まっていて歩きやすい。鞍部に下り、その先にある

急坂を登りきると後は緩やかなアップダウンを繰り返して下っていく。やがて横岳を過ぎると「もう少しで登山口だ」という気持ちになってくる。最後の急坂を慎重に下ると、後は緩やかな尾根を下っていく。尾根道を外れた所でアイゼンを外し、つづら折りの登山道を下り、橋を渡ると直に登山口に到着。帰りは「ひまわりの湯」で汗を流して疲れた体を癒す。そして車で高棚へ戻り片岡さんと別れて家路に着く。

〈リーダー所見〉 片岡さんから「残雪の雪山を温かくなってから登りたい」と言われていたので、今回予定していた「大川入山」を、天気の良い中で登れたのはとても良かったと思いました。また雪の締まりも良く歩きやすかった。思ったより時間がかかったけど、暗くなる前に下山ができ安全に「残雪の山歩き」を十分に楽しめたと思います。

《フリースペース》

大川入山頂上 (1908m)

確認 (リーダー)
竹
15/03/31
内
作成 (報告者)
竹
15/03/31
内